



平成26年11月5日

各位

会社名 日本アンテナ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 瀧澤 豊  
 (東証JASDAQスタンダード・コード番号: 6930)  
 問合せ先 取締役管理本部長 清水 重三  
 TEL 03-3893-5221

平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異  
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年3月期第2四半期の連結及び個別決算において、平成26年5月14日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、本日開催の当社取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成26年5月14日に公表いたしました平成27年3月期通期業績予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

## 1. 平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異

## (1) 連結業績予想値と実績値との差異(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	7,800	70	40	30	2.32
実績値(B)	7,177	△127	△127	△105	△8.19
増減額(B-A)	△622	△197	△167	△135	—
増減率(%)	△8.0	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	9,247	415	418	264	20.45

## (2) 個別業績予想値と実績値との差異(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	7,600	40	20	10	0.77
実績値(B)	6,840	△148	△160	△123	△9.56
増減額(B-A)	△759	△188	△180	△133	—
増減率(%)	△10.0	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	8,597	385	384	239	18.56

## 2. 平成27年3月期通期業績予想の修正

### (1) 連結業績予想値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	19,400	1,230	1,190	710	54.92
今回発表予想 (B)	17,500	620	580	360	27.85
増減額 (B-A)	△1,900	△610	△610	△350	—
増減率 (%)	△9.8	△49.6	△51.3	△49.3	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	20,034	1,304	1,341	856	66.22

### (2) 個別業績予想値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	19,000	1,200	1,150	690	53.38
今回発表予想 (B)	17,100	600	550	330	25.53
増減額 (B-A)	△1,900	△600	△600	△360	—
増減率 (%)	△10.0	△50.0	△52.2	△52.2	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	19,098	1,272	1,311	837	64.82

## 3. 業績予想との差異の理由

平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績及び個別業績は、消費税増税の駆け込み需要の反動もあり、テレビ関連機器の販売が低調に推移したことと、前期にあったテレビ電波塔移転対策工事を補完できなかったこと等により、売上が前回予想を下回りました。また、利益面につきましても、コストダウンへの取組を継続して行ったものの、売上高の減少や円安による原価増の影響が大きく、営業利益、経常利益及び四半期純利益が前回予想を下回りました。

平成27年3月期通期業績予想につきましても、上記の第2四半期累計期間の実績等を踏まえるとともに、当期に見込んでいた周波数移行に伴うテレビ受信障害対策工事や放送事業者向け端末販売が来期にずれ込むこと等により、前回発表時の予想を修正いたします。

当社の今後の対応といたしましては、引き続き販売・生産体制の強化を図るとともに、更なるコストダウンに努め、収益の改善に向けて邁進いたします。

なお、配当予想につきましては、一株当たり21円の予想を据え置いております。

## 4. 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は市場の需要動向等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上